

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービスAce学園		
○保護者評価実施期間	令和7年2月1日		令和7年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数) 5人
○従業者評価実施期間	令和7年2月1日		令和7年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数) 5人
○事業者向け自己評価表作成日	年 月 日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子どもの発達状態に応じた個別活動と集団活動が出来る。	個々のニーズに合わせた個別療育の実施を軸に、日常動作訓練、創作的活動、機能訓練、集団生活適応訓練を日々の活動に取り入れている。 ・リトミックを通して、ソーシャルスキルや即時反応を高める指導を行っている。聴覚や集中力、自発性、表現力などへの働きかけを行っている。	・個別療育を定期的に行った後に、保護者様に分かりやすくフィードバックできるツールの活用を検討する。
2	・手厚い支援体制。	・各職員が個々に関わりを持ち、療育に携わっている。個々の療育内容を職員間で共有し、スモールステップを全員で分かち合うようにしている。 ・日々の活動の様子を画面だけでなく、画像や動画にて見ていただけるよう意識して記録をしている。	・家族支援加算を定期的にご利用して保護者様への相談援助やフィードバックを大切にしている。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者の方への非常時等への対応(緊急時・感染症等)に対する周知・発信不足。 訓練等実施していることでの発信不足。	・防災への取り組みや緊急時の対応は作成しているが、契約時のみの説明に留まり、周知機会が不足。 ・SNSの活用不足。	・防災への取り組みや緊急時の対応に関しては、内容の確認のもと、年度初めに保護者へ周知していく。 ・SNSやおたより等を通じて、保護者の方へ取り組みを発信していく。
2	・利用児と地域との交流機会や保護者同士の交流機会の企画・提供不足。	・療育内容や支援といった「本人支援」に重点を置いており、「地域支援・地域連携」に対する情報収集不足・取り組み不足。	・保護者のニーズ・意見を聴取し、安全面を考慮しながら、少しずつ交流の機会を増やしていく。また、地域の活動等の情報収集を行う。
3			